

【文化祭用品をめぐって】

深沢 武志

盆栽素材とじっくりと向かい合い、山野溪谷に自生する木々の風趣をデフォルメして、盆上に移ろう秋を演出する。試行錯誤を繰り返しながら思い描いたイメージを形にする。盆栽いじりの至福の時間です。

来年の文化祭出品のために鉢合わせと植え替え、松柏類は泥鉢、雑木類は釉鉢を用い、私達が暗れの日のために衣裳合わせをするのと同じ様に「大きさ」「形」「鉢映り」の取り合わせによって、イメージアップをはかる。また限られた鉢のスペースの中で元気に生きていくために、新しい用土の入れ替え、根を切りつめて新根の伸びる余地を作り樹勢をつけます。落葉樹は裸梢を観賞するので、枝のほぐれ、繊細な小枝作り、雑木のもつやわからかさ、優しさを作るために芽つみ、強い枝の切り込み、樹形を乱す枝は針金をかけて修正します。

実物は夏から秋にかけて、特に肥培して来年の豊かな稔りに備えます。翌春針金をはずして軽く剪定をして樹形を整えます。

紅葉する木は葉灼を防ぐために、八月から九月まで木洩れ日程度の日影に置き十月から太陽に当てます。開花直前の実物栽培は受粉、受精で忙しくなります。姫リンゴ、アケビは自家不適合性ですので姫リンゴの場合は、同時期に花の咲く実カイドウなど、違った種類を一カ所に寄せておきます。アケビは自家受粉しないので三葉アケビと五葉アケビで人工交配をします。



老爺柿は雌雄異株なので雌木と雄木をもって人工交配する。美男カズラ雌雄異花ですが、雄花が早期に咲いて二時間ほどで落ちてしまう。雌花は昼頃に咲きズレがあるので、咲いた雄花を切り取り前日から咲いている雌花に花粉を万遍なくつけます。もし雌花が咲いていない時には雄花を切り取って冷蔵庫に保存して雌花の開花を待ちます。梅モドキは雌雄異株ですが開花中雌木数木を寄せて置けば自然交配をします。水を好むので水切に注意します。後は芽つみ、水かけ、定期予防消毒を繰り返して、秋の出品の日を待ちます。観る人の心を療し、望郷の念を抱かせる様な盆栽作りを夢見て日々丹精しています。



生涯学習通信 生涯学習推進会議

のびのび いきいき 生涯学習

『わたしの生涯学習』



【私の生涯学習】

富永 元恵

私は公民館学級生です。欲張りにも三つの異なる学級に在籍しています。コーラスを楽しむ「はもーる城北学級」、地域の人達と学ぶ「栄町成人学級」そして「都留市を皆で考えて行動しよう」と女性達で作った「つみかごの会」です。

「コーラス学級」でお腹の底から大声を出して歌うと、心身共にリフレッシュ、「わたしの元気のもとは何かな？」と思うほどです。五月の母の日と秋の合唱祭には、お揃いのドレスでステージに立って歌うので、日頃のレッスンにも熱が入ります。

「栄町成人学級」は去年、開設十周年を迎え、その思い出や記録を記念誌にしました。ふるさと都留市の歴史や街づくりのこと、健康に関すること、趣味の数々と、この十年多彩な学習に挑戦したことは驚くばかりです。「つみかごの会」も十歳になりました。

都留市を住みよい街にするために「私達女性に何が出来るか」と問い続けながら学習を重ねる中で、終始一貫して取り組んだのは「ゴミ減量」です。実践の一つには「資源ゴミの分別の仕方」を判りやすくパネルにして、人の集まる場所に展示したり、そのパネルを市内の小・中学校に回覧して、生徒さん達にも一緒に考えてもらったことなどがありました。今、婦人会や商工会女性部など都留市の女性団体の皆さんと声をかけ合い、「マイバック運動」を展開しています。買物のとき、必ず買物袋(マイバック)を持参して、レジで「この袋にいれてください。レジ袋は要りません」と言います。一枚五円もするレジ袋を私達は何のためらいもなくもらい続けてきました。レジ袋は便利ですが家に帰るとゴミと化してしまっています。「ゴミを減らしましょう」「資源を大切にしましょう」と口先だけでなく、まず身近な「マイバック運動」を都留市全体に広めていきたいです。

「つみかごの会」では、近々新しく建設されたゴミ焼却場を見学します。私も是非参加して、二十一世紀のゴミのことを勉強してこようと思っています。

